



かっもく 刮目

学校教育目標

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～



校訓 [自主・剛健・高雅]

東金市立東金中学校
学校だより 第9号
令和2年12月23日発行
文責：副校長 村井 克行

2学期終業式から

校長先生の話



8月20日から始まり、126日間と、例年とは違う長い2学期も、今日で終業です。この間、3年生は修学旅行の、2年生はグリーンスクールの代替としての校外学習を行いました。それぞれに思い出がくれたことと思います。また、それぞれの学級で練習を重ね発表した合唱コンクール、次の東金中のリーダーを決める生徒会役員選挙も、知恵を絞り、工夫を凝らして、例年とは違う方法でしたが、実施することができました。

また、3年生は「第2回進路説明会」、2年生は、「高校出前授業」、「企業人に学ぶ」や1・2年生で共に永田選手の話を行った「教育講演会」と進路についての学習も進めてきました。皆さんが計画的に一生懸命取り組んだ「定期テスト」や「実力テスト」もありました。成果と課題を皆さん一人一人が明確にしてきたことと思います。部活動においては、秋季大会等で頑張りを見せる姿が多く見られ、成果と共に成長を感じ取ることができたことと思います。(中略)

2学期の始業時には「コロナ禍ではありますが、今できることに、しっかりと向き合い、取り組んでいきましょう。」という話をしましたが、工夫を凝らし、力を合わせて、実り多き2学期になったことと思います。各学級でそれぞれ2学期を振り返り、自分を褒めることもあったでしょう。課題を見つけてくることもできたことでしょう。今後の糧にしてほしいと思います。

ところで、先日、コロナ禍という世界中で未曾有の状況下であっても、素晴らしい成果を得て帰還した「はやぶさ2」のニュースが飛び込んできました。帰還についてはコロナの影響で延期ということも考えられていたということも後日伝えられました。様々な状況からの検討を重ねながら、世界初の偉業を成し遂げられたのは、研究者の皆さんの強い意志と確かな技術力で課題を克服してきたことによります。また、海外では新型コロナウイルスのワクチンの接種が始まったというニュースも入ってきています。多くの人々が、よりよい未来に向けて果敢に取り組み成果を上げてきていることは、たいへんうれしくもあり、ありがたいことです。いつでも、「夢と希望」を持ち続けていきたいものです。

さて、明日からは冬休み、年末・年始を迎えます。何かと慌ただしいこともあるでしょう。ですが14日間の休みを有効に過ごしてほしいと思います。特に3年生は自分の進路に向けて、まとまった時間がとれる最後のチャンスです。最後になりますが、皆さんも知ってのとおり、新型コロナウイルスへの感染は拡大傾向が続いており、未だ収束は見えてきていません。マスクの着用やうがい・手洗い、密を避けることなど、冬休み中も引き続き、一人一人が感染拡大防止に取り組んでいくことが重要です。1月7日には、全員が元気に3学期を迎えられるよう願っています。

生徒代表の話

第1学年代表 1年3組 花澤 樹さん

2学期は僕にとって新しいことに挑戦した2学期でした。僕は2学期に初めて級長になり、話し合い活動などで可会やまとめ役をやりました。思っていたよりも人をまとめることが難しく、こんなに大変なのかと初めて知りました。僕はまだ自分の力だけではうまくできないので、上手にまとめている人たちを手本にして3学期にはみんなをまとめることができる人たちを手本にして、3学期にはみんなをまとめることができるようになりたいと思っています。(中略) 1年3組にとって、1学期よりも仲が深まった2学期でした。1学期と比べて、合唱コンクールや色々な行事を通してたくさんの方が意見を出し合ったり、一人一人がみんなのために頑張ったりすることで、だんだんとみんなが一つにまとまってきました。しかし、最近1学期にはできていた、二分前着席や授業に対する集中力など基本的なことが気がゆるんでできなくなってしまうところがあります。僕も積極的に呼びかけをしたり班長たちと一緒に注意し合ったりしていかないといけないと思っています。3学期は、一人一人が意識をして自ら行動ができるクラスにしたいと思っています。3学期が終わり、2年生になることクラス替えをしてしまうので、今の最高のメンバーと過ごせなくなってしまうと思います。3学期は、このみんなともしっかり良い思い出を作っていきたいと思っています。

第2学年代表 2年3組 中野 大翔さん

まず、私自身のことを振り返れば、特に部活動と勉強の成果の差が大きく分かれた2学期でした。(中略) 中学2年生の3学期は、「3年生0学期」とよく言われます。私達も受験に少し近づいていることを実感します。3月に卒業した先輩たちもたくさんの方が、この時期、「今までの生活に後悔している」とか「もう1年あれば」とか悔しがっている姿を見ました。私達も後悔をしないように今からしっかり準備をしたいと思えます。一方、陸上部の活動では、2年生になってから練習量を一気に増やしました。それを続けてきた結果、先日の大会で自己ベストを大幅に更新したり、県大会で入賞できたりと、良い結果を出すことができました。努力は必ず報われるという言葉もありますが、継続することが大事だと改めて気づかされました。目標タイムを突破し、来年には必ず全国大会に出場したいです。他の部も、2年生が中心となってたくさんの方の優れた成績を残しました。3学期は、私たち2年生が手本を示すことで、基礎練習や体力づくりを充実させて来年のさらなる活躍の土台を作っていきたいと思います。

2学年全体としては、未だ収まることのない新型コロナウイルスの影響で、たくさんの方の行事が中止となりましたが、2学期は、合唱コンクール、校外学習、昼の集い、職業学習会、出前授業など、少しずつできることが増えてきました。感染防止のため様々な制限がある中で活動ですが、実施できることをまず先生方へ感謝します。特に、印象に残っているのは、合唱コンクールです。大勢の人のいる前とビデオ撮影での発表では緊張感が違いましたが、優秀賞がとれたことでみんなとの一体感が生まれました。マザー牧場では班ごとに協力し、カレー作りをし、煙でいぶされた手作りカレーの味は忘れられない思い出となりました。

このような活動を通して、どのクラスも1学期よりまとまってきたと思います。3組も、一人一人の個性を大切にしてより楽しいクラスになってきました。これからも学級・学年で団結し、できることを増やしていきたいと思います。



第3学年代表 3年3組 黒澤 海都さん

3年生になり、早8ヶ月がたち中学生でいられるのもあと3ヶ月となりました。受験生として、気持ちが追いつかない事も多々あります。3年生になってから、私が特に悩んだ事は、「進路について」です。受験生になりほぼ毎日進路のことを考えていました。そして、今も試験に向けて、過去の問題を解いたり苦しい分野の復習をしています。志望校を決めるにあたり、私は勉強と部活動を両立させ、充実した高校生活を送りたいという思いがありました。みんなも同じだと思いますが、志望校を決めるときにはとても悩みました。悩んでいるときに父に相談してみました。父は仕事が忙しくて普段はあまり会話もありませんが、「自分の行きたい高校に行きなさい」と言うてくれました。この言葉から、父から信頼され任されていると感じ、より一層頑張りたいと思うことができました。そしてそれは、僕の心の中の支えにもなると同時に責任も感じています。

この2学期を振り返ってみると、最も思い出に残っていることは10月に行った代替修学旅行です。私は実行委員を務めました。実行委員の仕事は本当に多忙でした。(中略) 旅行の行程やお小遣いや持ち物などのルールについて、みんな意見を出しあって決めていきました。時には忙しすぎて立候補したことを後悔したこともありましたが、修学旅行が終わり、みんなの「楽しかった」という声を聞いて、頑張ったよかったと報われた気がしました。

2学期の大きな行事を終え、今年も終わりにさしかかっています。クラスでも、「受験」というキーワードを耳にする機会がとて多くなりました。やはり、まだ高校のことや、仲間との別れのことを考えると、不安で寂しさに押しつぶされてしまいうると思います。ですが、受験は個人だけで挑むものではありません。クラス全体、学年全体で共に励まし合って、受験の空気を創り上げていきたいと思います。門出の日を笑顔で迎えられるよう、前を向いて3年生全員で一生懸命頑張っていきたいです。

